

塚脇小児童 自主防犯パトロール隊と対面式

5月24日、塚脇小学校校体育館で、玖珠地区自主防犯パトロール隊（75名）と児童の対面式を行いました。

この対面式は、地域の方々が各区で行っている「自主防犯パトロール隊」の活動を子どもたちに知ってもらおうことや、隊員の方々の顔を覚えてもらうことを目的として毎年行っており、今年は32名の隊員の方が参加してくださいました。

武石和正パトロール隊長が「地域のおじちゃん・おばちゃん達が、みんなの事を見守っています。これからも声をかけますので皆さんも元気に挨拶をしてください」と挨拶。

対面式終了後児童・保護者・先生とパトロール隊は、自治区ごとに隊列を組み、通学路の安全を確認しながら帰路につきました。



児童の前に並ぶ隊員のみなさん

玖珠中学校 緑のカーテン設置 塚脇小学校 種まき体験

今年度も地域「協育力」支援事業がスタートしました！
昨年度同様、ご協力・ご支援よろしくお願ひします！

支援第1号は玖珠中の緑のカーテン設置です。

5年前から、取組んでおり、多くの地域の方の知恵と玖珠中を想う熱いハートで、だんだんと立派な緑のカーテンが出来ています。特に昨年度は県のうつくし課主催のフオトコンテストで「中学校部門賞」をいただきました。ネットは漁協から譲り受けたもの、コンテナは梨農家のおさがりでリユース（再利用）が評価され、どこにも負けず立派に出来ました。



コンテストで部門賞を受賞した
昨年の緑のカーテン

今年も約百本のゴウヤを無事植えつけました。熊谷校長は『今年は、来校された保護者やお客様や地域の方に食べてもらいたい』と成功間違いなしの顔で言われています。

保護者の皆様、地域の皆様、どうぞ見事な緑のカーテンを見に、学校に足を運んでください。

続いて、塚脇小学校では、米作りの一環で種まき体験を行いました。

学校近くに田んぼをお持ちの麻生氏に例年支援をいただいておりますが、今年も無事に種まきが行われました。一週間に水に浸していた種もみを手にとらせ、大ききの違い、少し発芽しかかった様子を自分の目で観察し、一粒一粒丁寧に苗床にまいていきました。

種まきした箱に土を均



麻生氏（写真左）の指導を受ける塚脇小児童

一にかぶせ、畑に発芽をさせるために移します。

水をたつぷりとやった後はビニールで覆い、約一週後ビニールを取り、今度は、児童皆で水やりです。手は抜けません！観察しながら、苗が大きくなるのを見守る約束をしました。

今後は、田植え・稲刈りと観察・体験をつみ重ねていきます。

玖珠中学校区コーディネーター

岩尾 純子